

オホーツク地域の日本一・世界一

—INTRODUCTION OF MUNICIPALITIES—

■オホーツク地域の日本一・世界一

オホーツク地域が誇る日本一や世界一などを紹介します。

市町村名	区分	内容	摘要
オホーツク 総合振興局 管内	世界最南	オホーツク海	流氷が接岸する南限の海
	日本一	たまねぎの作付面積、収穫量	作付面積：7,765ha 収穫量：474,560t (2017) 全国作付面積の30%、収穫量の39%
		サケ・マス漁獲量	42,708t (2015)
		湧別原野オホーツク100kmクロスカン트리 スキー大会	国内最長距離 (100kmリレー、85km個人) 遠軽町～湧別町
		ホタテガイの漁獲量	1,189,661t (2015)
	日本最大級	森林認証 (SGEC、FSC) 取得面積	18市町村 63.3万ha (2018年12月) 全国の森林面積の約3割を占める
	国内唯一	サロマ湖100キロウルトラマラソン	国際陸上競技連盟公認のウルトラマラソン 湧別町～佐呂間町～北見市常呂町
	全道一	サロマ湖の面積	151.7km ²
		馬鈴しょ (でん粉用) 作付面積	作付面積：10,553ha 全道作付面積の67%
		二条大麦 (ビール用) 作付面積、収穫量	作付面積：1,175ha 収穫量：3,678t (2017) 全道作付面積の75%、収穫量の75%
森林蓄積		142,291千m ³ (2016)	
		木材・木製品製造業 (家具を除く) 出荷額	398億2,555万円 (2016)
北見市	世界最大級	鳩時計の大きさ	高さ約20m 道の駅おんねゆ温泉「果夢林」
	日本最大級	ワッカ原生花園	幅200～700m、延長20kmの海岸草原 約300種以上の草花が咲き誇る
		アドヴィックス常呂カーリングホール	国内最大の競技場数6シートを備えた専用屋内施設
	世界初	「北の大地の四季」水槽 おんねゆ温泉・山の水族館	冬期凍結した川の内部が観察できる水槽
	日本初	公道を使用して行うソーラーカーの競技大会	「ソーラーチャレンジ・イン・北海道 91」
		屋内専用カーリングホール	1988年建設 (2013年改築 アドヴィックス常呂カーリングホールへ)
		「滝つぼの水槽」 おんねゆ温泉・山の水族館	滝つぼの中を真下から眺める水槽
	地ビール		オホーツクビール 1995.3.17誕生 地ビール製造免許第1号 (酒税法改正後日本第1号)
	東洋一	エゾムラサキツツジ群落	無加川沿いの丘陵斜面岩礫地に面積2.52haにわたって推定7万株、28万本のエゾムラサキツツジが群生
	日本一	玉ねぎの生産量	生産量：238,646 t (2017)
白花豆の生産量		140.6t (2017) 全国の約6割	
てん菜の作付面積		3,627ha (2017)	
緋牛内のオオカシワ		幹が枝分かれしていない単木としては幹周日本一 (5m) 1991年環境庁認定	
		「天然イトウ」の大きさ おんねゆ温泉・山の水族館	「イトウの大水槽」内で飼育されている天然イトウ 約100cm×20匹
全道一	市町村の面積	1,427.41km ²	
世界一	常呂遺跡の竪穴式住居跡数	太古からアイヌ時代へと続くすべての時代の遺跡が発見され、中でも竪穴式住居跡が数万カ所にわたって点在	
国内唯一	イトムカ水銀含有物リサイクル施設	乾電池、蛍光灯リサイクルを中心に、様々な廃棄物処理に対応。使用済み乾電池を処理できる国内唯一の施設 (野村興産株式会社)	
網走市	世界最北	漆の栽培地	1884年に市内で漆樹林を発見。1859年前後、会津地方から移植されたと推定。
	発祥の地	冷凍すり身	北海道水産試験場網走支場にて開発。1960年企業化
	日本一	北浜駅	日本一オホーツク海から近い駅 約20m
		刑務所総面積	約1,700ha
		エミュール飼育数	世界で2番目に背が高い、オーストラリアの国鳥。飼育数：約1,000羽 (2018)
日本最北	またたび果実の栽培地	収穫量：769kg (2018)	

■オホーツク地域の日本一・世界一

オホーツク地域が誇る日本一や世界一などを紹介します。

市町村名	区分	内容	摘要
網走市	日本初	カラフトキリギリスの生息確認	濤沸湖畔で初確認（1980.9.3）
		ハナタネツケバナの自生確認	濤沸湖畔で初確認（1971.6.26）
		ミスタニバイ	網走市在住の漁師がオホーツク海で発見した新種の貝。（1970）
	国内唯一	モヨロ貝塚	オホーツク文化の遺跡の中で、墓・住居・貝塚が同遺跡内で見ついている唯一の遺跡
	全道初	名勝・天都山	1938.12.14 国の文化財「名勝」に指定
		WHO健康都市連合への加盟	第5回総会において正式承認（2012.10.26）
		網走市立美術館	1972年開館の市町村立美術館
	全道一	わかさぎ卵出荷量	秋田県など全国39箇所に出荷。出荷粒数：13億1,900万粒（2017）
		トーテムポールの高さ	高さ約15m 1989.5作成
		網走市立郷土博物館	1936年に建てられ、博物館施設として建築された道内で最も歴史ある博物館
		二条大麦の生産量	生産量：3,946t 作付面積1,076ha（2017）
		しじみの漁獲量	漁獲量：853 t（2016）
		わかさぎの漁獲量	漁獲量：69 t（2016）
		内水面漁業漁獲量	網走湖・能取湖・藻琴湖・濤沸湖の合計漁獲量：4,133t（2016）
網走市立図書館		人口4万人未満の市・区における年間個人貸出冊数189,000点（2015）	
道内唯一	ちくわの長さ	21.52m 「網走はうまいんです。網走一番！夏祭り」でつくられた。（2013.7.20）	
	小型捕鯨基地	捕獲頭数：ツチクジラ1頭（2018）	
紋別市	世界初	氷海展望塔「オホーツクタワー」	1996.2.12開館 海上38.5m、海底7.5mから流氷やオホーツク海の生物が観察可能
		流氷砕氷船	ガリンコ号 1987.2.1就航
	東洋一	鴻之舞鉱山の産金量	1940年 産出量：金2.8t、銀51t
	国内唯一	アザラシ専門保護・観察施設「オホーツクとっかりセンター」	1999.11.9開館 ※とっかりとはアイヌ語でアザラシの意
美幌町	日本一	馬鈴しょでん粉生産量	24,084t（2018）
		高蛋白製品生産量・低蛋白製品生産量	高蛋白：1,009t（2018） 低蛋白：3,963t（2018） でん粉生成の際に出る副産物 主に家畜飼料の原料として出荷。
		四季成り性・いちご苗の増殖数	業務用いちご（用途：ケーキ等）品種の苗を生産し、国内いちご主産地へ苗を供給する産地となっている。【2018生産量】1,098,512株
	世界一	ヒグマ長寿世界一	1948年美幌町内で捕獲され、名古屋市東山動物園で飼育されていたヒグマ「美幌」（1985年、38歳で没、人間にたとえると120歳）
	国内唯一	グリーンアスパラガスの11月初旬出荷	美幌町の気象条件を活かした独自の「伏せ込み栽培法」により、全国で初めて11月初旬の出荷を可能にした。
全道一	美幌温水溜池	1970年完成 総面積93,076㎡で、溜池としては全道一の大きさ。道内で唯一、農林水産省による「ため池百選」に選ばれている。	
津別町	日本初	日本農林規格（JAS）認証有機牛乳の生産	2006.5.25認証、2006.9.25販売開始。商品名「明治オーガニック牛乳」
		有機牛乳の生産量	2,500t（2018）
	全道一	クリンソウの大群生地	6月中旬から、1ヘクタールの湿地に約30万本のクリンソウが咲き誇る。近年、全国的に森の湿地帯が減っており、大きな群生地は希少である。
		木材・木製品製造業（家具を除く）出荷額	164億8,481万円（2014）
全道唯一	森林セラピー基地	2011年4月認定。森林セラピーとは、森林浴から得られる癒し効果をも科学的な裏付けによって検証された森林効果のこと。	
斜里町	日本一	サケ・マス漁獲量	16年連続日本一（2003～2018） 斜里町調
		開通期間が日本一短い国道「国道334号知床横断道路」	開通期間：4月下旬～11月上旬
	国内唯一	ナショナルトラスト運動「しれとこ100平方メートル運動」	1977.2、自治体として全国初のナショナルトラスト運動を開始
		海域を含む世界自然遺産	2005.7.17登録

オホーツク地域の日本一・世界一

-INTRODUCTION OF MUNICIPALITIES-

■オホーツク地域の日本一・世界一

オホーツク地域が誇る日本一や世界一などを紹介します。

市町村名	区分	内容	摘要	
清里町	日本一	清流日本一（斜里川上流）	公共用水域水質測定結果（環境省環境管理水環境部、2003・2004）	
	日本最北	焼酎醸造所「清里町焼酎醸造事業所」	1976年設立	
	日本初	じゃがいも焼酎「清里焼酎」	「じゃがいも」を原料とした本格焼酎 1975年開発着手 1976.10誕生	
小清水町	世界初	DMV試験的営業運行開始	浜小清水～藻琴駅間（2007.4～2008.9） ※DMV（Dual Mode Vehicle）：線路と道路の両方を走行できる車両	
	世界一	でんぷんだんごの大きさ	縦255cm、横125cm、厚さ3cm 小清水屋台村で作られた （2011.2.26）	
	日本最北	小清水海岸の鳴き砂	浜小清水前浜キャンプ場から約1km西に分布	
訓子府町	日本一	図書貸出率日本一	1985年、1987年～1993年（7年連続） 日本図書館協会調	
置戸町	世界一	パークゴルフ場の公認コース数	17コース 153ホール	
	日本初	ナキウサギの発見	1928年「生きた化石」と呼ばれるナキウサギが発見された	
佐呂間町	日本初	カボチャの加工処理施設の整備	1984年整備	
		湖内越冬によるホタテ養殖の導入	1964年	
	日本一	ブルームボール2018ジャパンカップ優勝	メンズカテゴリー	
	全道初 道内唯一	ブルームボール競技開催 サロマ湖の海苔養殖	1984年 浜佐呂間 谷川水産	
遠軽町	世界最大級	「影絵」の展示規模	木のおもちゃワールド館「ちゃちゃワールド」 作品名：光彩陸離（高さ9m×幅18m）、影絵の巨匠 藤城清治 作	
	日本最大級	黒曜石埋蔵量 コスモス園の面積	推定2～5億トン 太陽の丘えんがる公園虹のひろば 作付面積：10ha	
	日本一	国産ピアノ部品の生産	国内における響板及び鍵盤のシェア約70%	
	日本最北	昆虫生態館「丸瀬布昆虫生態館」 じゅんさいの栽培地	1997年開設 1991年から栽培開始	
	日本初	交通安全奉仕活動「無事カエル」配布	遠軽家政高等学校家庭クラブが1977年から活動開始	
	国内唯一		簡易軌道用ディーゼル機関車（DL）の動態保存	鶴居村営軌道（簡易軌道雪裡線・幌呂線）で使われた1959年製のDL
			森林鉄道用蒸気機関車の動態保存	雨宮21号（北海道遺産及び近代化産業遺産、日本森林学会選定林業遺産、準鉄道記念物 1928年製造）
			アスファルトコアフィルダム 社会福祉法人経営による男子児童自立支援施設	北電武利ダム 北海道家庭学校 1914年から運営
	日本最古級	軽便鉄道木造客車の動態保存	井笠客車（1925年製造）	
	全道一		世界の木のおもちゃ展示国数	木のおもちゃワールド館「ちゃちゃワールド」 約40カ国展示、約1万点所蔵
		日最高気温38.4℃ 藤園の株数	1978.8.3 丸瀬布町気象観測所観測値 平和山公園「藤園」200株	
道内唯一		現在も稼働しているスイッチバックの駅 裏側から見る事ができる滝	遠軽駅 非勾配型スイッチバック 丸瀬布「山彦の滝」 俗称：裏見（うらみ）の滝	
湧別町	世界初	サロマ湖第一湖口にアイスブーム（防水柵）を設置	2001年完成	
	日本最北	遊園地「ファミリー愛ランド・YOU」	1985年開園	
	日本最大級	チューリップ公園	およそ200品種のチューリップが咲く総面積7haの公園	
滝上町	日本最大級	「芝ざくら滝上公園」の芝ざくらの面積	10ha	
	日本初	キャッチ&リリース区間が設置された川「渚滑川」	1995年宣言 2009年条例化	
	国内唯一	はっかの生産	作付面積：2.9ha（2016）	
興部町	世界初	オホーツク海に防水堤を整備	1981年から整備	
西興部村	全道一	木の砂場	「森の美術館 木夢（こむ）」 木の玉の数14万個	
	日本一	氷のトンネル	天塩岳道立自然公園内 高さ3m、幅4m	
雄武町	日本一	ダツタンそば作付面積及び収穫高	作付面積 223ha（2018）、収穫高41.2t（2018）	
大空町	日本最大級	東藻琴芝桜公園の芝桜の面積	10ha	
	道内唯一	北海道ドラゴンボート競技会	太鼓1名・舵取り1名・漕ぎ手8名の10名で行われるボートレース	

オホーツク地域のご当地グルメ

—INTRODUCTION OF MUNICIPALITIES—

■オホーツクのご当地グルメ オホーツク地域では数多くのご当地グルメが開発されています

市町村名	ご当地グルメの名称	グルメの紹介
北見市	オホーツク北見塩焼きそば	2007年登場。オホーツクのうまみが凝縮した塩ダレで、北見名産のホタテや玉ねぎを焼きそばに。B-1グランプリ厚木大会で初出場10位入賞。市内約20ヶ所のホテルや飲食店で提供されています。
	オホーツク干貝柱あんかけ焼きそば	2017年登場。1960年代に始まったとされるオホーツク&北見の「塩あんかけ焼きそば」の食文化をリスペクトして開発。ホタテ貝柱入りのあんを、ふんわりの卵焼きと固焼きした麺でサンドした直径25センチの「オム塩あんかけ焼きそば」です。北見産たまねぎを使用した漬物とスープ付き。
網走市	オホーツク網走ザンギ丼	2008年に網走のご当地グルメとして登場。網走産の新鮮なオホーツクサーモン（カラフトマス）を地場産天然魚醤油に漬け込んで揚げた「網走ザンギ」を網走産の長いもや山わさびとともに熱々のご飯にのせたどんぶり。
	網走ちゃんぼん	長崎県雲仙市との長ちくわ対決から始まった交流をきっかけに誕生した「網走ちゃんぼん」は、雲仙の小浜ちゃんぼんのスープと、網走の海の幸を組み合わせた、新しい「ちゃんぼん」です。
	網走モヨロ鍋	網走で生産される新鮮な魚介類や野菜を、網走発祥のすり身とともにオホーツク土器に見立てた特製鍋でいただくご当地鍋。古の北方の民、オホーツク人（モヨロ人）に思いを馳せ、仕上げたご当地グルメです。
紋別市	オホーツクホワイトカレー	2007年に地域のご当地グルメとして登場。オホーツク紋別産のホタテと乳製品を使用し、旬の野菜や、海産物など美味しい味覚を一度に味わうことのできるホワイトカレーです。
美幌町	「美幌豚」バーガー	第2回北海道ご当地バーガーグランプリ準優勝の「美幌豚バーガー」。東京白金にある人気店のシェフとレシピを開発。美幌豚100%のパテとジャガイモのガレット、クリームチーズをはさんだ今までにない味。豚の飼育や商品開発に美幌高校の生徒達が積極的に参加し、学・商・農連携によって開発した美幌のご当地グルメです。
津別町	クマヤキ	道の駅あいおいで販売。かわいくマの形をしたあんこ入りのあったかスイーツ。ヒグマ、シロクマの2種類があり、シロクマはタピオカ入りのモチモチとした皮の食感がやみつきになる。
清里町	オホーツク清里虹色うどん	2015年3月21日に誕生した新・ご当地グルメ。地場産の小麦粉×美味しい水×名産の長芋で作った七色のわんこううどん。7種類の方法で長芋を調理し、7個のわんこううどんにトッピング。780円と料金もリーズナブル。
小清水町	でんぷんだんご	でんぷんだんごは、道東地方の伝統食で、煮豆と煮汁・でんぷん・塩をこねた生地を焼いたものです。自然な甘さとモチリ感、そして香ばしさが魅力の一品。小清水町内の飲食店で提供されています。
	じゃがいもスイートポテト	”小清水産”のじゃがいもを100%使った滑らかな生地と、カスタードクリームを二層にし、タルトカップに入れて焼き上げました。道の駅とイベントでしか販売されていないため、売れば早々に完売する人気のお菓子です。
	恋麺	2018年に誕生したご当地グルメ。小清水産小麦「春よ恋」を100%使用したモチモチ食感の超極太麺に、小清水牛やゴボウ等で作る濃厚肉みそと山わさびが味の決め手！
訓子府町	訓子府たれカツ丼	40年以上前からある醤油ベースのたれカツ丼は、訓子府カツ丼としてマスコミでも多数紹介されています。各店独自の醤油たれで、「訓子府町でカツ丼といったらこれ！」と、地域にしっかりと定着している味です。
遠軽町	三種のうどん詰合せ	遠軽町生田原産のアスパラとカボチャを使用した緑・オレンジ色のうどんと、遠軽町白滝の黒曜石をイメージし、黒千石豆を使った黒色のうどんの詰合せ。彩り豊かな見た目とそれぞれ違った風味を楽しめます。
湧別町	チガイのわかるカレー	湧別町商工会女性部が食を通じて地域を盛り上げようと、2015年に考案。地域の特産品であるサロマ湖産のホタテ稚貝とオホーツク産の玉ねぎを使用したカレーで、飲食店ごとに様々なカレーが楽しめます。毎年、稚貝が水揚げされる5月から販売が始まり、各店稚貝がなくなり次第終了する期間限定のご当地カレーです。
興部町	興恵グルメ	興部町商工会青年部と西興部村商工会青年部が共同で、地元地場産品を広くアピールしようと考えられた、興部町と西興部村の特産品を3品以上取り入れたメニューを「興恵グルメ」といいます。
西興部村	村長ラーメン	1996年発売、当時の村長が考案したご当地ラーメン。エゾシカ肉のチャーシューや行者ニンニクなど、村でとれた具材がトッピングされています。西興部村を訪れたらぜひこの一杯を召し上がれ。
雄武町	韃靼そばコロッケ	雄武町で生産された韃靼そばと北海道産のじゃがいもで作ったコロッケです。韃靼そばの香ばしい風味と苦みを楽しめるよう、衣にも韃靼そばの粉を使いました。ほんのりと淡い緑色が特徴で、何も付けずにお召し上がり頂けます。
大空町	大空豚しゃぶ長いも丼	大空町産素材にこだわった丼ぶり定食。丼ぶりに使う豚肉、長いもはもちろん、味噌汁に使うしじみとわかさぎの佃煮も大空町産です。各店舗によってたれの味や長いもの調理法が異なるので、食べ比べも楽しめます。